

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

特別会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	おむつ給付金(本庁)			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	地域包括ケア推進 課
評価責任者(課長名)					阿加井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	平成 2 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	介護保険法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成2年度に事業を開始。平成17年度に支給額を、平成24年度に現金支給と併せて給付券での支給を可能とするよう制度を見直した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	65歳以上で要介護3から5の市民税非課税世帯に属する高齢者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	自宅又は病院等で紙おむつを使用する高齢者の福祉の向上及びその家庭の経済的負担の軽減を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給付対象は、要介護3以上で市民税非課税世帯に属する65歳以上の者。</li> <li>・給付券(月9,000円上限)を年12枚交付。入院中等の場合は、現金給付。</li> <li>・毎月1回、登録業者が対象者に紙おむつを給付(業者が各家庭に配達)</li> <li>・1件当たり平均支給額:給付券8,479円、現金7,739円(高齢者一人当たり平均購入費月8,363円:ユニ・チャーム株式会社提供資料より)</li> </ul>			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

Ⅲ. 投入量

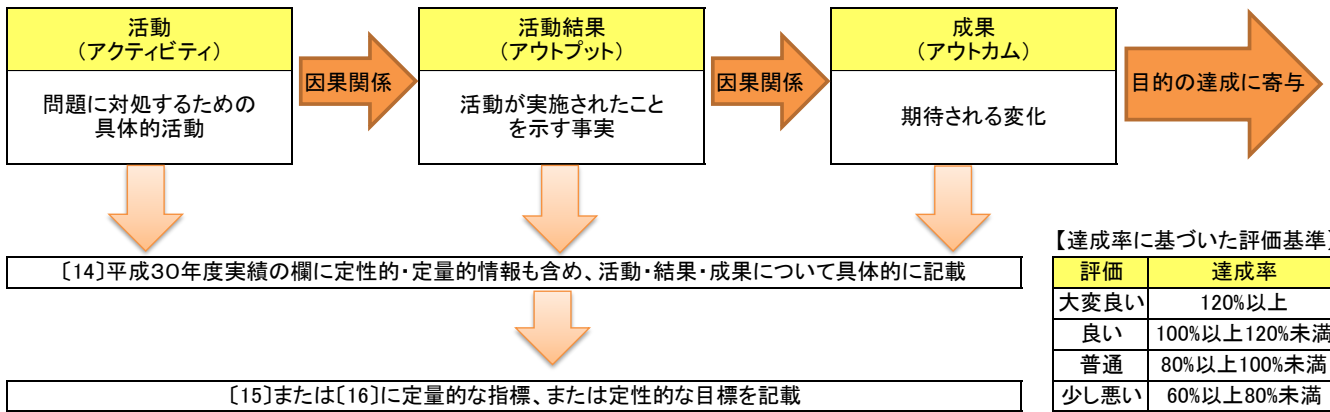
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費(a)	千円	250,038	262,726	273,472	289,235	
主な事業費内訳	扶助費	千円	246,401	258,930	270,767	286,647
	その他	千円	3,637	3,796	2,705	2,588
		千円				
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円	146,272	153,694	157,930	167,033
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
	その他(被保険者保険料)	千円	55,008	57,799	62,899	66,524
一般財源	千円	48,758	51,233	52,643	55,678	
12 人件費(b)	千円	2,300	2,320	2,320	2,300	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	252,338	265,046	275,792	291,535	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	おむつ給付金(本庁)	シート番号	11-070
-------	------------	-------	--------

### ≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績							
活動実績と成果	14	<p>自宅又は病院等で紙おむつを使用する高齢者に対し、下記の通り給付を行った。</p> <p>(給付方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙おむつ給付券(1カ月あたり1枚、1枚あたり9,000円)を交付し、登録業者に注文する。商品と給付券を交換し、事業者は給付券を添付して当市に請求を行う。</li> <li>紙おむつを持ち込むことができない病院に入院中の場合は、領収書を添付して当市に申請し償還払いにて支給を行う。</li> </ul> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支給者数については、前年比105.1%、支給額については、前年比104.6%となっている。</li> <li>本事業を必要としている高齢者に対して着実に給付しているため、支給者数・支給額ともに増加・増額している。</li> </ul>					
	15	支給額	千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
				目標値	-	-	-
				実績値	246,401	258,929	270,766
				達成率	-	-	-
				評価	-	-	-
		算出方法・設定根拠など					
		あらかじめ目標を設定する性質のものではないが、実績として支給額を計上している。					
	16	支給延人数	人	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
				目標値	-	-	-
			実績値	29,147	30,644	32,210	
			達成率	-	-	-	
			評価	-	-	-	
	算出方法・設定根拠など						
	あらかじめ目標を設定する性質のものではないが、実績として支給人数を計上している。						

#### 業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
高齢化に伴う要介護者の増加により、支給者数及び支給額は、年々増加・増額傾向にあり、自宅又は病院等で紙おむつを使用する高齢者の福祉の向上及びその家庭の経済的負担の軽減を図ることができていると考えられる。	

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。